

情報かわら版

川崎市立小学校情報教育研究会
会長 岩田昭彦(宿河原小学校)
平成 29 年 6 月 第 2 号
担当 橘小学校 佐藤 謙

情報主任会および図書主任会を開催しました

平成 29 年 5 月 21 日(水)、川崎市立稲田小学校にて情報主任会と図書主任会が行われました。

情報主任会には、情報・視聴覚センターの百瀬実指導主事に来ていただき、今年 3 月に出された「川崎市立学校における教育の情報化推進計画」についてお話しいただきました。また、情報教育研究会より夏休みに行われるセンターとの共催研修のお知らせをさせていただきました。会員の皆さんだけでなく、多数の方にご参加いただきたいと思います。

全体会の後は、各区に分かれての分科会を行いました。話題になったことは、
・情報、視聴覚主任の仕事や校内の組織 ・学校 HP の運用
・ICT 機器の活用方法(教育用コンピューターやタブレット PC・実物投影機など)
・校務支援システムの活用 ・情報活用能力育成のためのカリキュラム などです。みなさんが日常取り組んでいる実践について情報交換をしたり、悩みなどを共有したりすることができ、有意義な時間となりました。また、分科会後の相談会でも、さらに詳しく中身の濃いお話をすることができました。今後お悩みのことなどがありましたら、「図書・情報お助け回覧板」もご活用ください。



全体会と分科会の様子

図書主任会では、読書感想文や感想画コンクールの応募について研究会よりお知らせをお願いをさせていただきました。配布した文書をお読みいただき、各学校の先生方に伝達をお願いします。また、夏休み中の図書研修についてもお知らせをしました。図書館や蔵書を活用した実践を紹介しますので、こちらもぜひご参加ください。

会の後半では、大戸小学校の中川ひとみ先生による実践報告を行いました。テーマは「体験と重ね合わせて読み、自分の考えをもつ読書活動」です。読書活動を通して言語能力を育成していく過程を、中川先生の日常の実践から学ぶことができました。先生が、目の前の子どもたちの実態に応じて価値ある本を選んだり、様々な教科領域と関連させたりすることで、必然性のある並行読書になるような手立てや工夫が随所に見られました。子どもたちが、この読書活動を通して、自分の考えが伝わる実感や、友達の考えや思いを受け入れる気持ちをもつことができる子どもたちに育ってきている様子も伝わってくる内容でした。参加された皆さんも、日常的な積み重ねや計画的な指導のヒントをもらったのではないのでしょうか。



第 1 回授業研究会のお知らせ

今年度第 1 回目の授業研究会です。情報教育研究会では、この題材を通して情報活用能力、とりわけ子どもたちの情報モラルを育てるために、より良い手立ての工夫や発達段階に応じて子どもたちに理解させたいネット特性などについて、年間カリキュラムの作成や指導案検討を重ねてまいりました。ぜひご参加ください。お待ちしております。

- 日時：7 月 5 日(水) 13 時半より(受付開始 13:15~)
- 会場：川崎市立三田小学校(小田急線生田駅より徒歩 15 分)
- 授業者：平野智久先生(2 年 3 組担任)
- 単元名：特別活動「公共物をみんなが安心して使うためには、どんなことを大事に良いかな」



平野智久先生



情報研おすすめイベントはこちらの QR コードからぜひ!